

# かけはし通信



## 笑顔いっぱい わくわくがいっぱいの交流活動

秋から冬にかけて、いくつかの小学校で、近隣園の年長児を招いて、交流活動が行われました。学校ごと、活動は様々でしたが、笑顔いっぱいのひと時となりました。

年長児にとっては、「学校って楽しそうだな。」と期待感をふくらめたり、教室に入ったり、トイレを始めて使ってみたりすることで、不安が解消するというねらいがあります。1年生にとっては、年長さんと関わることによって、自分の成長を自覚したり、2年生に進級する気持ちが高まったり、相手意識を育んだりする活動となっています。



「まったよ！」とばかり、1年生が年長さんに作り方を教えてくれ、まっぼっくりのけん玉作りをしました。けん玉にかざりシールを貼り、名前を記していく場面では「自分でできる？」と気遣い、遊びの場面では「あと、もう少し！おしい！」「こうするといいよ。」と声をかけ、お兄さんお姉さんらしさを發揮していました。

1年生の教室や靴箱、廊下には、年長さんへのメッセージや可愛い絵がいっぱいに描かれていて、“歓迎ムード”満載でした。1年生にとっても交流活動は、わくわくがいっぱいですね。



「あきのおもちゃランド」に招待してもらった年長さんは、はじめは緊張した様子でしたが、1年生の誘いかけに笑顔を見せ徐々に楽しめるようになっていました。秋の木の実遊びは園でも楽しむ遊びです。1年生との「遊びと学びのつながり」のみえる活動ですね。



「学校ってどんなところ？」「遊ぶところもあるのかな？」とドキドキいっぱいの年長さん。園でのお散歩の途中で小学校に寄って、遊具で遊ばせてもらう年長さんもいます。入学後にペアになる5年生も気軽に声をかけてくれ、入学への安心感につながりますね。





1年生の生活科での“泥団子作り”での交流活動。「上手に作る方法を年長児さんに教えよう。」と自分たちの発見した工夫をいろいろな方法で伝えてくれました。年長さんは、園に戻って、小さい子たちに教えているそうですよ。



1年生の机に座って、鉛筆の練習プリントをやってみた年長さん。1年生が、「お名前は書いてあげようか？自分で書く？」と優しく声をかけていました。



1年生の生活科「昔の遊び」で年長さんと一緒に遊びました。これも園での遊びとの「つながり」を感じる活動ですね。

交流活動の最後には、お互いに感想を言い合うことができました。その後、園長先生からもお話があり、年長さんは、入学への期待が膨らみ、1年生は、自分の成長を自覚できたひと時になりました。



予定していた活動が少し早く終わったので、ランドセルを背負う、学校の椅子に座るなどの体験もしました。教科書や漢字ドリルを見せてくれる1年生もいました。音楽の教科書の「♪キラキラ星」を見せ、「これ知ってるでしょ」と園とのつながりを1年生が年長さんに伝える様子もありました。

1年生の国語「もののなまえ」この授業のねらいは、「語彙を増やすこと」です。まずは、「聴く」「話す」「読む」学習の様子を年長さんが参観しました。その後のお店屋さんごっこでは、年長さんがお客さんとなり、交流を楽しみました。商品を売るときには、「物の名前を言う」というルールになっていました。「これください」「いちごですね」「カレーパンですね」などなど、やり取りが楽しそうでした。



コロナ禍で途絶えていた各小学校と園との交流活動が、地域の特色や規模に合わせて徐々に戻ってきています。小学校と園とで、お互いにねらいをはっきりさせて、取り組んでくださっていることが要ですね。「みんなの前で発表している1年生がかっこいいと思ったよ。」とあこがれの連鎖がおきていることも素敵です。

